



G-TECH

COMPANY PROFILE



次代の風を受け、未来へ

わたしたち株式会社G-TECHは、顧客満足度の追求を通してつねに事業のあり方をアップデートさせながら、新たなビジネスの潮流を生み出していきたいと願っています。綿密なマーケティングによって市場のニーズをリアルタイムに把握し、可能な限り高品質な製品を世に送り出すとともに、次代を担う若手従業員の育成にも積極的に取り組んでいます。

経営理念

1. 常にプロ意識(the pride of a professional)と向上心を持ち、自立した会社経営を目指す。
2. お客様満足度120%を目指す。
3. グローバル製造を目指す。

社 是

誠意…人と人との繋がりを大切にし、思いやりをもって接する。
感謝…お客様や自分を取り巻く人々、またその環境に感謝する。

基本方針

「品質・コスト・納期・技術力で、競争力のある企業としての地位を占める」に基づき、全社を挙げて顧客満足向上を図る活動に取り組む。

施設紹介

当社は愛知県小牧市の小牧東部工業団地内にあり、周辺には小牧四季の森、6月には蛍が飛び交い自然環境に恵まれた地域です。また、中央自動車道「小牧東IC」より車で5分、名神高速道路「春日井IC」より10分と、交通条件にも恵まれています。四季折々に変化する景色、山々のグリーン、空のブルーにマッチングした設計で2009年6月より新しい環境の下、優良な環境の中で精度の高いものづくりを目指しております。



事務棟



製造棟



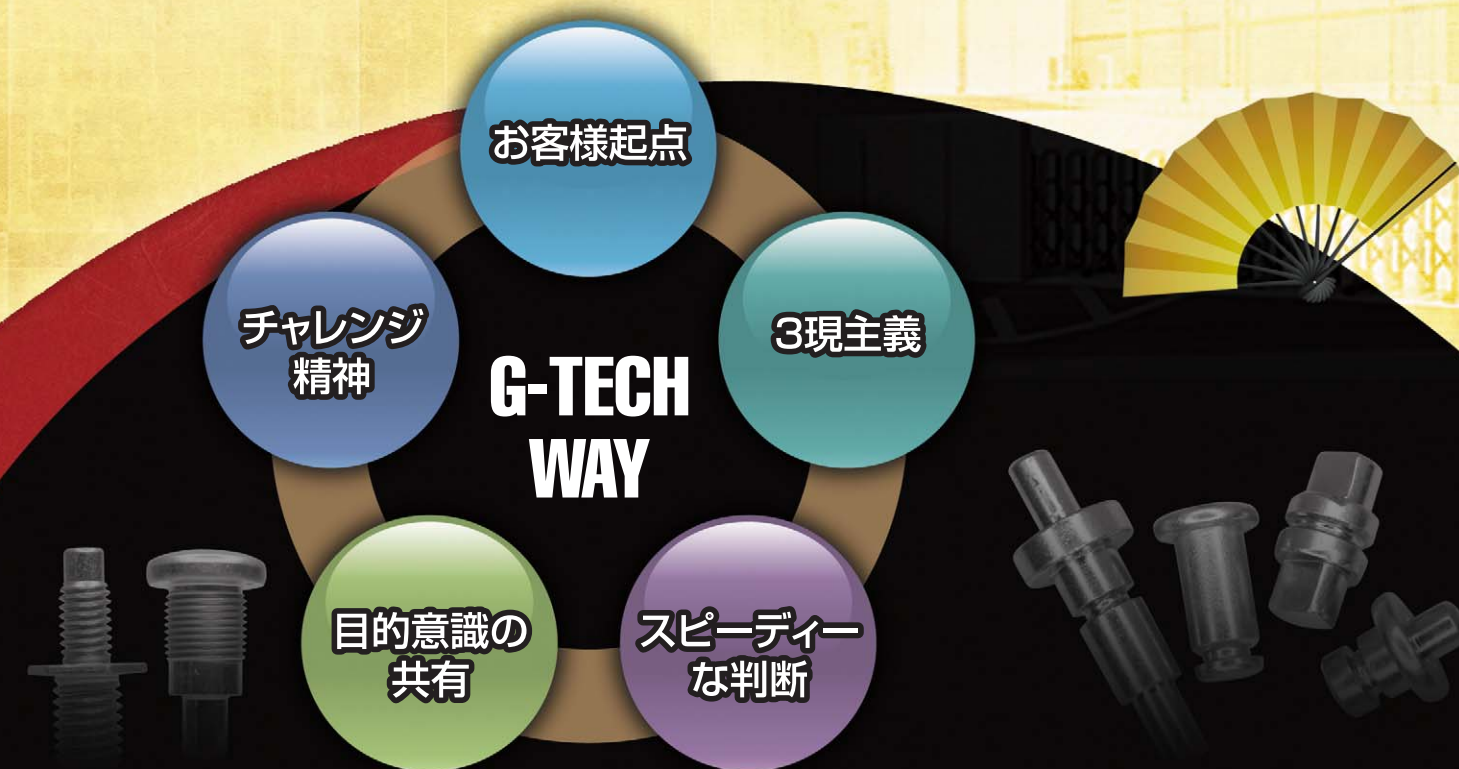
事務所



製造工場内



社員食堂



G-TECHWAYとは?

G-TECHWAYとは、社会における当社の存在意識、価値観、日々の活動に社員一人ひとりがどのように考え、どのように行動したら良いのか、原理・原則を示したものです。すべての社員がG-TECHWAYを十分に理解し行動しなくてはなりません。判断に迷った場合、行動の原点であるG-TECHWAYに立ち返ることにより、問題解決に繋がります。全社員がG-TECHWAYを柱としてベクトルを合わせることで、ビジネスパートナー、さらには国際社会、地域社会に貢献します。



Technology

フォームローリング工法

フォームローリングとは？

円筒形状の素材を回転させ、金型で外部圧力を加えることにより成形する工法です。絞る、伸ばす、膨らます、自由自在に変形できるのが特徴で、中空品にも加工可能です。ローレットやピンもフォームローリングにて対応しております。



フォームローリング工法の5つのメリット

- 1.Speed** 切削加工の5～20倍の速度による加工が可能
- 2.Low cost** 圧倒的な生産能力で最適なコストパフォーマンスを実現
- 3.Power** 金属組織内のファイバーフローを寸断しないため、素材強度の維持が可能
- 4.Eco** 切粉・切り屑の発生がなく、また加工時の騒音や油煙が少なく環境に優しい
- 5.Beautiful** 塑性(そせい)変形による成形のため仕上がりがなめらか

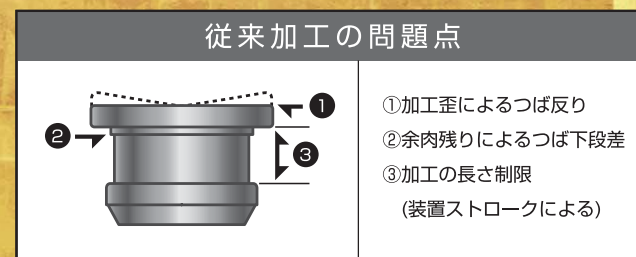
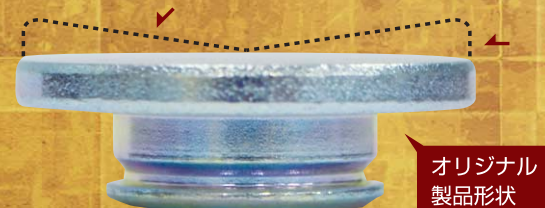
加工の流れ



サポートリング工法 特許取得技術 5892715号

フォームローリングの特徴を最大限に活かした新技術! 転造での加工による座面下の段差、つば反りをZEROに! 用途に合わせて専用設計した金型(転造ダイス)を使用し、必要な部分にだけの加工を実現しました。

改善点1 加工歪によるつば反り発生防止



ウェーブグリップ 意匠登録 1616602号

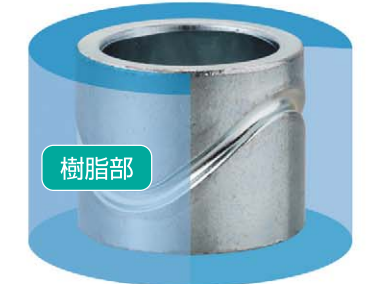
樹脂や ゴム素材への 埋設部品の 新しい形状

ウェーブ溝が樹脂やゴムをしっかりとグリップ。上下方向、回転方向の動きにも強い新形状。

従来品
(アヤメローレット)



樹脂部



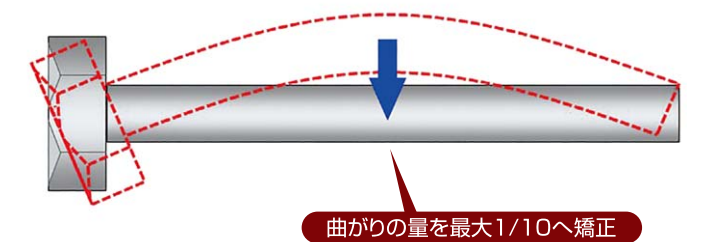
3ダイス転造

ロボット搬送によりオートメーション化した3ダイス転造機をラインナップしております。3つの丸ダイスにより、薄肉中空素材にも転造可能です。



曲がり矯正

「ロータリー式」曲がり矯正機を使用し、母材の曲がりを最大10分の1に矯正します。通常、圧造で成形したボルトの固さを出すため熱処理を行います、その際に金属の特性上曲がりが発生します。当社では低コストと高品質を保証するため、完全自動化による矯正技術でご対応させて頂いております。加工スピードは最大50～100本/分で、大・小ロットともにご対応可能です。

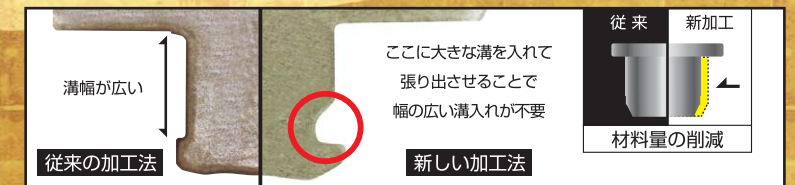


改善点2 余肉による段差発生防止



改善点3 溝幅の広い商品に適した加工

《溝径ブランクを作るため、素材の軽量化、材料量削減が可能》



人間力 Human Power

営業グループ

刻々と変化する時代の流れを先読みし、お客様のニーズにあったご提案を心掛けております。1つの製品を造る中でベストな加工方法を提案する、受け身の営業ではなく、提案型の営業を目指しております。

品質グループ

お客様の安心と信頼をご提供することを基本姿勢として改善を重ね、異常のわかる職場作りに取り組むことで、予知することに日々努めています。検査部門では画像選別機、形状記録測定器、マイクロスコープで製品検査を確実にしております。

業務グループ

お客様との窓口対応や製品の出荷準備・納期管理などお客様のご要望にお応えできるように製造グループと連携して業務を進めています。また、ワッシャーやダイスなどの在庫管理、発注の購買に関する業務を、パソコンのシステムで管理しています。

技術グループ

フォームローリングを基軸にした次世代商品の試作開発や新規品の立上評価、量産技術サポート、改善業務などをお客様ニーズにお応えする質感の高い製品作りを目指しています。

製造グループ

常に顧客重視を念頭に置き日々「品質・コスト・納期・技術力」の向上を目指して活動しております。また、年齢の垣根を取り除き新たなリーダーの育成、オペレーターのスキルアップにも注力しています。



Quality
品質



Business
業務



Technology
技術



Manufacturing
製造

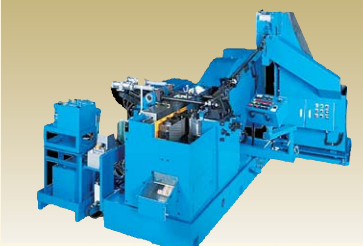


Sales
営業

人間力の向上を目指し、日々成長しています。

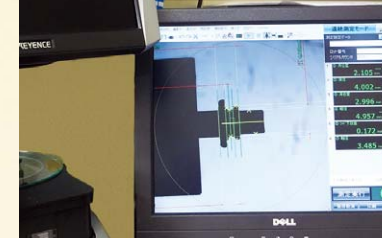
生産機械保有台数中部地区トップクラス

設備紹介



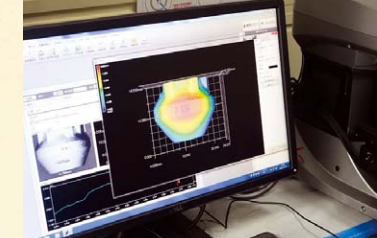
メートルねじ、ユニファイねじ、タッピングねじなどを製造できる転造機を多く保有しています。台形ねじやウォームねじなど、特殊ねじの転造も可能です。

検査機器紹介



お客様の品質満足度にお応えするため、最先端の検査機器である、マイクロスコープ、イメージメジャーを導入して、万全の体制で取り組んでいます。

3Dマイクロスコープ導入



3D測定マイクロスコープで形状および粗さ測定が行えます。金型や治工具、製品などの形状確認や摩耗管理、粗さ測定など幅広い検査、解析を行っております。

製品完成から出荷まで

高品質の製品を安定して供給するために、きめ細やかで丁寧な検査を行います。



①製品完成



②外観検査 (マイクロスコープ)

検査室と工場に設置。オペレーターが常に外観をチェックしながら製造。



③寸法検査 (投影機・イメージメジャー)

検査室と工場に設置。オペレーターが常に外観をチェックしながら製造。



④断面確認 (切断機・研磨機)

一部の製品はファイバーフロー、内部に割れがないか、異常な形ではないかチェック。



⑤出荷検査

検査部門にて出荷前にもう一度外観・寸法の基準を満たしているかどうかチェックします。



⑥出荷

●沿革

- 1975年 4月 愛知県岩倉市に後藤工業株式会社を設立。切削、研削、ねじ転造を営業品目とし加工受託。
- 1994年 2月 企業特色を持つため、削らない工法「フォームローリング」に着手。
- 1996年 6月 フォームローリング工法による新規部品を受注。
- 2001年 2月 フォームローリング加工の可能性、将来性を考え、切削、研削部門を後藤技研として分離独立させ、後藤工業は転造機を増設し転造専門メーカーとしてスタート。
- 2004年 5月 愛知県小牧市三ツ淵に小牧工場をオープン。
- 2005年 5月 小牧工場、小牧南工場、製品倉庫に拡張。
- 2007年 1月 ISO9001認証取得
- 2008年 9月 本社建屋老朽化と職場環境の改善目的により小牧市が運営管理する小牧東部工業団地に工業用地を購入。
- 2009年 6月 小牧東部工業団地に全面移転（株）G-TECHに社名変更
- 2013年 1月 業種・業界にとらわれない幅広いお客様に対応すべく営業エリアを全国に展開。
- 2014年 9月 平成25年度ものづくり補助金事業採択。（1回目）
- 2015年10月 平成26年度ものづくり補助金事業採択（2回目）
- 2016年 3月 新工法「サポートリング工法」を開発。
G-TECH初となる特許を取得。（特許第5892715号）
- 2017年 1月 東京ビッグサイトにて行われたオートモーティブワールド2017「自動車部品加工EXPO」に初出展。
- 2017年 2月 新商品「G-BOLT」を開発。
G-TECH 2件目の特許を出願
- 2018年 1月 東京ビッグサイトで行われた、オートモーティブワールド2018「自動車部品加工EXPO」に2年連続出展。
- 2018年 7月 平成29年度ものづくり補助金事業採択（3回目）
- 2018年10月 新商品「ウェーブグリップ」を開発。
G-TECH初の意匠を取得。（登録第1616602号）
- 2019年 1月 東京ビッグサイトで行われた、オートモーティブワールド2019「自動車部品加工EXPO」に3年連続出展。



G-TECH



株式会社 G-TECH（ジーテック）

〒485-0802 愛知県小牧市大字大草字年上坂 5953-12
TEL 0568-65-7301 FAX 0568-65-7302
URL <http://www.goto-k.co.jp/>
E-mail : daihyou@goto-k.co.jp